

## 目的&活動内容

### 協会の目的

- (1) 中途失聴・難聴者の福祉の増進
- (2) 中途失聴・難聴者の抱える諸問題について社会の広範な理解を促進する
- (3) 中途失聴・難聴者の諸問題について調査や研究をする
- (4) 同じ目的および目標を持つ組織と協力すると共に、進んで社会活動に参加する

### 主な活動内容紹介



- (1) 情報機器の設置、耳マークの普及  
(聞こえにくい人への配慮を表し、生活上の不便や不安を解消するマーク)
- (2) 若者の集い・高年の集いなどの企画実施
- (3) 全国、京都府や各ブロック、市町村単位の交流や学習の場を提供
- (4) 行政への中途失聴・難聴者への施策  
(あらゆる場所での情報保障)を求める活動
- (5) 機関紙『JOHO (ジョーホー)』  
(月1回発行)



あなたの背中を押します！

…こんな経験はありませんか？  
…こんなときどうすれば???

- ◆学校の授業内容が聞き取れない
- ◆電話が聞き取りにくくなった
- ◆会話の中で何度も聞き返しをしたり、聞き間違いが増えた
- ◆複数の人数での会話についていけなくても聞こえたふりをしてしまう
- ◆雑音のある場所での会話がつらい  
(仕事場・飲み会・電車の中など)
- ◆職場に自分が聞こえにくい事を言いづらい◆  
来客(宅急便・郵便)に気づかない事がある
- ◆補聴器を買ったが合わない(うるさくてなじめない)
- ◆名前を呼ばれるとき聞き落とすまいと緊張し、気が休まらない
- ◆テレビの音が大きいと注意される
- ◆マスクで口元が見えず聞き取りづらくなった。



その悩みあなただけでは  
ないですよ  
一人はみんなのために  
みんなはひとりのために



## 京都府中途失聴・難聴者協会

京都府下で中途失聴・難聴者のために  
活動している団体です



《事務所(本部)・所在地・連絡先》

〒610-0121

城陽市寺田林の口11ノ64

京都府聴覚言語障害センター内

Eメール: [hunankyojyoyo1@gmail.com](mailto:hunankyojyoyo1@gmail.com)

ホームページ

<https://kyo-chusitu-nan.sakura.ne.jp>

(北部) 舞鶴支部、宮津支部、福知山支部、綾部支部  
(中部) 亀岡支部、長岡京支部、向日支部  
(南部) 城陽支部、八幡支部、宇治支部、相楽支部

作成:2021年2月 修正 2023年1月

## ～どうして聞こえにくくなるの？～

私たちは普段いろいろな音に囲まれて生活をしていて、これまで問題なく普通に過ごしていたことが、あるとき耳鳴りが起きたり、いつもより物音が聞こえにくくなったりし、人との会話がつらく孤独を感じる場合があります。



原因はいろいろなことが考えられます。

高齢による難聴、ストレスによる難聴、遺伝性の難聴、病気や事故による難聴など。一般的にこれらを中途失聴・難聴者と呼んでいますが、元の状態に治る人もいます。また、生まれつき難聴の場合もあります。

「私は聞こえにくいだけであって、難聴ではありません」という方もいます。

でも、これってほんとうに大丈夫なのでしょうか？

## ～補聴器もいろいろあるけれど

聞こえにくくなったら・・・？

耳鼻科あるいは補聴器店を想像する人は多いでしょう。

補聴器販売店には認定補聴器専門資格を取得している所で選ぶことをおすすめします。アドバイスを受けて、自分に合った補聴器選びが必要です。(Tコイル付きが望ましい)

補聴器では補えない聴力になったら、人工内耳装用で音から少しずつ聞こえを取り戻している人もいます。

## ～こころのなやみ～

聞こえにくくなった人の聞こえ方は様々です。



音は聞こえても何を言っているのかわからない。聞こえていたものが聞こえなくなったことへの喪失感から、難聴という言葉や障害を持った現実を受け入れにくく、隠してしまう傾向があります。

また本人自身や家族が、周囲に難聴と知られることを恥ずかしいと思ったり、聞こえにくいことを説明しても理解を得られなかったりなど、どこの誰に相談をしたらよいかわからずひとりで悩みを抱えてしまう人が多くいるのです。

『では、どうしたら良いの？』

## ～ひとりで抱えないで、 まずは協会にお尋ねを～



私たち京都府中途失聴・難聴者協会は、ひとりぼっちで聞こえに悩んでいる人たちが集い、楽しく交流できる場を提供しています。

同じ悩みを抱える人とコミュニケーションをとることで、共感、理解を得られた実感を持つことができます。

また、当事者が主体となり、聞こえに関する解決方法を一緒に考え、案を出し合い、難聴者の声を社会に発信する役目も果たしています。

私たちと一緒に交流や活動をしませんか？



## ～こんな方法で話をしています～

聞こえにくい者同士がどのようにコミュニケーションをとっているかご存知ですか？

スムーズに会話を進めていけるように、手助けを受けたり、機器の利用があります・・・

【要約筆記】話の内容を要約して文字で伝える



ものです。OHCやパソコンを通してスクリーンに文字を映したり、筆談によるノートテイクをして

もらったり、その場に合わせた手段です。

【ヒアリングループ】磁気を発生することで、



マイクを通した音声を直接補聴器や人工内耳に伝え、会話をより聞こえやすくする

設備です。注意点は、『Tコイル』に切り替えができる補聴器を使用することが条件です。

筆談でお互いに伝え合うこともできます。私たちにとって安心できる手段です。

